

クリニック向け自動精算機販売

エヌ・エス・エム

診療料金の精算は、診療報酬制度に基づく点数計算を踏まえて行う。通常は、医師のカルテをもとに事務職員が手作業で処理するため、精算まで時間がかかる。自動精算機は電子カルテとデータ連携しており、診療情報を自動で反映。診療後に発行されるQRコードをかざすだけで、待ち時間なく非対面で精算できる。

クリニックでは事務職員の人手不足が深刻だ。診療



青山尚憲社長

報酬制度に対応できる人材確保は難しく、教育にも時間とコストがかかる。自動精算機がない場合、計算間違い防止のため締め作業に時間を要し、毎日残業するケースもある。残業代は月数万円程度に上り、現場の負担は大きいという。

自動精算機は現金払いをはじめ、クレジット決済なども電子データで送信でき、伝票処理も不要。導入したクリニックでは、締め作業が1時間から10分程度に短縮された事例もある。精算業務の時間も減り、事務職員は接客や受付業務に集中できる。

クリニックキオスクは、自立型と卓上型の2種類で、価格は1台320万円から(オプションで変動)。エヌ・エス・エムの試算では、1日70人以上の患者が来院する施設なら導入メリットが大きいとしている。

クリニックは全国に約10万施設あり、自動精算機の普及率は5%程度にとどまる。2026年8月末までに30台を販売し、売り上げ1億円を目指す。青山社長は「電子カルテと連携できる点が強み。医療DXを進め、人手不足の解消に貢献したい」と話す。

電子カルテ連携で待ち時間ゼロへ

医療機関のデジタルトランスフォーメーション(DX)を手掛けるエヌ・エス・エム(本社大垣市今宿6の52の18、青山尚憲社長、電話0584・77・3121)は、クリニック向け自動精算機「クリニックキオスク」の販売を始めた。電子カルテと連携し、診療後の精算をQRコードで即時にできるようにする。診療後の待ち時間を解消し、医療事務の業務効率化を後押しする。

(西濃・野田哲示)



クリニック向け自動精算機「クリニックキオスク(卓上型)」